

〔令和7年度事務事業〕

I. 基本情報										
事業の位置付け										
1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出		
			有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数					
			有	現状値	29.4万人(2019年度)		目標値	60.0万人(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.4		
			有	取組	百舌鳥古墳群の保全					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			平成 17 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠									
事業の概要										
5	事業の実施主体			本庁						
6	事業の対象			市民、来訪者				対象数	単位	
								約80万	人	
7	事業の目的			世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値と維持保存に対する理解と意識を高める取組を通じて、古墳群を人類共通の資産として保存・継承し、また、来訪者が周遊できる環境を整備することで、古墳群を活かした都市魅力の向上を推進する。						
8	事業内容			○ 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市） ・『「百舌鳥・古市古墳群」価値理解イベント～体感！もずふる～』を令和7年10月5日にあべのハルカスで開催。 ○ 「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会」や民間企業等との連携 ・「百舌鳥古墳群 特別公開」を令和8年3月20日・21日に長塚古墳で実施。 ○ 古墳サミット ・「大阪・関西万博開催記念 古墳サミット」を令和7年11月29日にフェニーチェ堺で開催。 ○ 市民講座 ・「百舌鳥古墳群を学ぶ 親子ウォーキングイベント」を令和7年5月31日に堺市内で開催。 ○ 古墳群の周遊促進 ・スマートフォン・タブレット向け周遊支援アプリを保守・運用。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容									
9	主な支出先			委託業務の受注業者、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議、世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会						
10	公民連携・協働事業									

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度（閉市基本計画2030）
	講演会等の参加者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	2,300	2,500	7,000	8,000
			実績値	2,741	6,953		
	達成率	119%	278%				
当該指標を選定した理由	講演会等事業に多くの方々に参加していただくことが、古墳群の価値や魅力に対する理解を深めることに繋がるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	講演会等の参加者数						
12	活動指標	単位		実績		目標	
	講演会、PRイベント等の開催数	回		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	5	5	6	
			実績値	5	6		
	達成率	100%	120%				
当該指標を選定した理由	情報発信の機会を設けることが、古墳群の価値や魅力に対する理解を深めることに繋がるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	講演会等の参加者数の目標値を踏まえ、その達成に必要な活動指標として講演会等の目標開催回数を設定。						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	世界遺産保存活用事業	事業番号	008-068
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	136,270	37,577	43,498	36,951	45,573
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（財産収入、寄附金、繰入金）	111,891	37,544	13,575	36,932	42,476
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	27,540	30,780	31,920	31,920	33,060
	一般財源	24,379	33	29,923	19	3,097
15	年間経費（c）=(a)+(b)	163,810	68,357	75,418	68,871	78,633

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	会計年度任用職員報酬、期末手当、費用弁償（通勤費）	決算	7,297	0	堺市世界遺産保全活用推進事業補助金	決算		1,253	0
			予算	3,685	364		予算		1,400	0
		謎解きイベント（報償費、印刷製本費、委託料、使用料及び賃借料）	決算	1,599	0	世界遺産登録石碑設置工事	決算		4,602	0
			予算	8,830	0		予算		0	0
		世界文化遺産地域連携会議負担金	決算	40	0	百舌鳥古墳群周遊アプリ運営委託料	決算		957	0
			予算	40	40		予算		0	0
		百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会負担金	決算	119	0	雑踏警備委託料	決算		6,592	0
			予算	618	618		予算		10,903	0
		百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議負担金	決算	7,258	0	その他	決算		7,234	19
			予算	10,421	0		予算		9,676	2,075

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	講演会等参加者数	人	2,741	6,953
	②	上記①にかかる年間経費	千円	10,052	11,973
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	3,667	1,722
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度は、大阪・関西万博の開催に合わせて新たに実施した「仁徳天皇陵古墳周辺での謎解きイベント」や世界遺産石碑の設置により、事業目的の達成に向けた年間経費が増加している。 一方で、謎解きイベントにより参加者数が大きく増加したほか、「大阪・関西万博開催記念 古墳サミット」では定員1,700人を大きく上回る申込みを獲得し、「百舌鳥古墳群 特別公開」においても参加者数をさらに伸ばしたことから、ニーズを捉えた企画内容及び広報戦略を効果的に実施できたと考えられる。 今後は、特に参加者の裾野の拡大や次代を担うこどもたちの参画を意識しながら、情報発信や参加者増加の取組を推進する。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	新たに大阪・関西万博での誘客PRや謎解きイベントの開催、世界遺産石碑の設置などに取り組んだことや、「百舌鳥古墳群 特別公開」では2日間開催に加えて晴天にも恵まれたことから参加者数が増加し、堺市基本計画2025のKPIである「大仙公園エリアへの来訪者数」に寄与した。 また、保存活用会議での「価値理解促進イベント」や、古墳サミットは大仙公園エリアでの取組ではないものの、百舌鳥・古市古墳群への誘客につながるものであり、KPIの達成に寄与しているものと考えている。 次年度は、2030年度のKPI達成をめざして、誘客に繋がる謎解きイベントの継続実施や新たなイベント企画に取り組む。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性 有効性	■ 高い □ 低い ■ 高い □ 低い	特に「古墳サミット」は、国内の古墳関連自治体における事例共有から「G7大阪・堺貿易大臣会合」開催を契機に海外との連携を含む企画内容へと発展させ、R7年度の「大阪・関西万博開催 古墳サミット」に至るまで、参加者数を当初から大きく伸ばしており、世界遺産百舌鳥・古市古墳群を次代へ継承するための情報発信に大きく寄与しているといえる。 引き続き、国内外の関係機関との連携を強化しつつ、効果的な情報発信と誘客の取組を推進する。
----	------------	------------------------------	---